

REATEC

ユニットバスリニューアルセレクション
施工マニュアル

sangetsu

ユニットバスリフォームの施工方法

ユニットバスの壁面への施工手順と✔ポイントおよび❗注意点を説明します。

①下地処理

使用されていたユニットバスにフィルムを施工する場合、汚れなどが残っていると接着不良の原因となるため、特に油脂成分の除去などを十分に行ってください。へこみやキズなどを修正する場合にはポリエステル系のパテを使用してください。

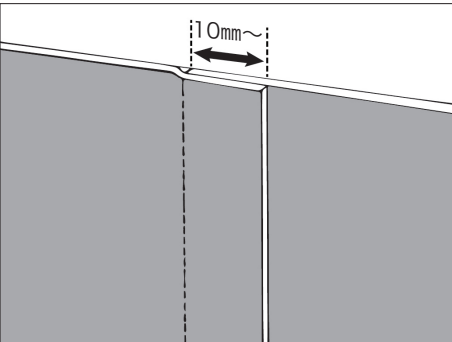


・施工をするにあたって、ユニットバスの内部を十分に乾燥させた状態で施工を行ってください。



・設備機器「水栓、ガス栓、電灯」の脱着などには、専門の業者を手配するなど、十分に配慮し行ってください。

②フィルムの貼り付け



壁面の清掃を十分に行った上、プライマーを全面に塗布してください。フィルムの貼り付けに関しては「平面、出隅、入隅」部への施工方法を参考にしてください。

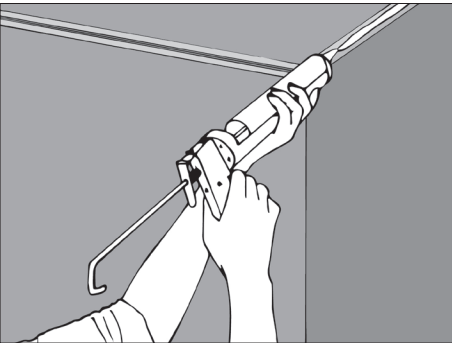


・フィルムのジョイントは重ねて施工してください。重ね幅は10mm以上取ってください。
・フィルムの重なり部分には、プライマーを塗布してください。



・溶剤使用時には換気を十分に行ってください。
・水のあたる方向に小口が向かないようにしてください。

③仕上げ（コーキング）



フィルムが貼り上がったら、端部にマスキングをしてコーキング処理をしてください。



・コーキング剤がはみ出ないように丁寧にマスキングしてください。



・コーキングの処理が不足すると、端部から水分が侵入してフィルムの剥がれの原因となることがあるので注意してください。

浴室パネルの施工方法

抗菌・防かびリアテックをラミネートした軽量の発泡パネルの施工手順と✔ポイントおよび❗注意点を説明します。
既存の壁面の上に施工を行いますので、既存の壁面を壊す必要がなく騒音も出ず、廃材も少量ないため工期短縮につながります。軽量で持ち運びがしやすく狭い場所の施工にも適しています。

①下地処理

浴室内の乾燥・換気

水気を十分に拭き取り、乾燥させてください。室内の換気も十分に行ってください。

シーリング剤等の除去

在来工法浴室の場合、目地部分のシーリング剤をカッター・スクレイパーなどで除去します。

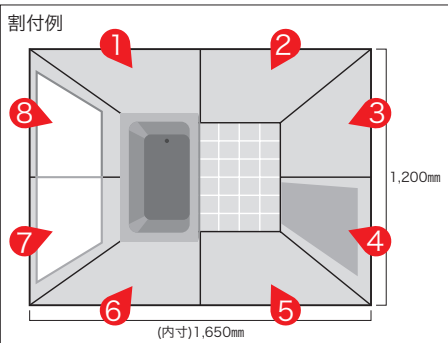
補修・調整

不陸の調整を行ってください。3mm以下の不陸については、施工用の両面テープで調整してください。3mm以上の不陸については、パテ・サンダーなどで調整を行うか、浴室用パネルの端材を利用したの下地調整も可能です。タイルの浮き・剥がれについてはモルタルや接着剤の充填を行ってください。

清掃

サンダーなどでの削り粉や粉塵は接着不良に繋がるため、下地表面から除去してください。タイル面などに残っている、垢・石鹸成分・かび・汚れについては中性洗剤やアルコールなどで除去してください。その後、乾拭きしてください。

②割付



浴室寸法を確認し、施工範囲を決定します。
施工範囲に合せて、必要なパネル数量を算出します。

▼1,650mm×1,200mmの場合

- ・リアテック浴室パネル・・・8枚
- ・ジョイナー(平目地用)・・・4本
- ・ジョイナー(入隅用)・・・4本

※割付・工法によって、使用数量は異なります。

③採寸・裁断・穴あけ

採寸

前工程で行った割付を元に、採寸を行います。貼り始め位置を決め、測定の基準となる線を、振り下げ等を使用して垂直・水平に引きます。その部分から天井・壁面に向かって測定していきます。

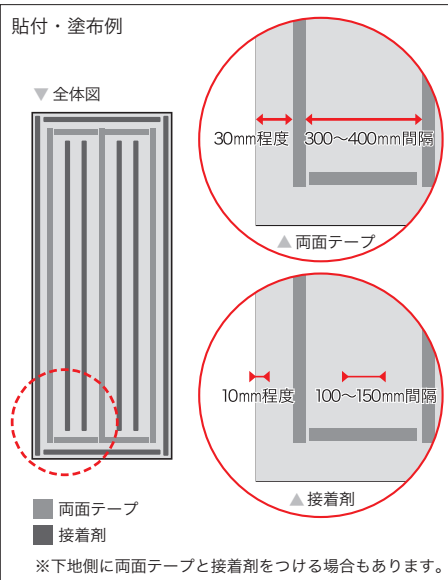
裁断

裁断については、カッターで裁断可能です。上記測定値に基づき、ジョイナー工法の場合はジョイナーの厚み分(2mm程度)をマイナスした寸法でカットします。mm単位の微調整はカンナを使用して行います。

穴あけ

各種器具や手すり等の設置に必要な穴は、事前にホルソー等を使用してあけておきます。サンダーなどでの削り粉や粉塵は接着不良に繋がるため、下地表面から除去してください。タイル面などに残っている、垢・石鹸成分・かび・汚れについては中性洗剤やアルコールなどで除去してください。その後、乾拭きしてください。

④両面テープ貼付・接着剤塗布



両面テープ貼付

まず、仮止め用の両面テープを貼り付けます。浴室パネルの周囲(端部から30mm程度)とその間(300~400mm間隔)に貼り付けます。貼付数量の目安は、パネル1枚(3×8板)あたり9m程度です。

接着剤塗布

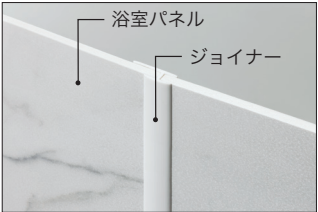
接着剤については、パネル端部と両面テープの間に、パネル端部から10mm程度離して塗布します。

また、両面テープの間に100~150mmピッチ程度で直線に塗布していきます。塗布する位置がパネル端部に寄りすぎると、貼付時に接着剤がはみ出すことがありますのでご注意ください。

また、塗布量はパネル1枚(3×8板)あたり、1.5本程度(333mlカートリッジ/本)で、両面テープよりも接着剤の山が1~2mm高くなるように塗布してください。



- ・浴室パネルを積み重ねる際は、異物が入らないようにご注意ください。痕が残る可能性があります。
- ・施工前は下地を清掃し、十分に乾燥させてから施工してください。
- ・接着剤を使用するため、施工については、温度10℃~30℃で行ってください。
- ・リアテック浴室パネルは防火認定を取得しておりません。内装制限を受ける箇所には使用しないでください。

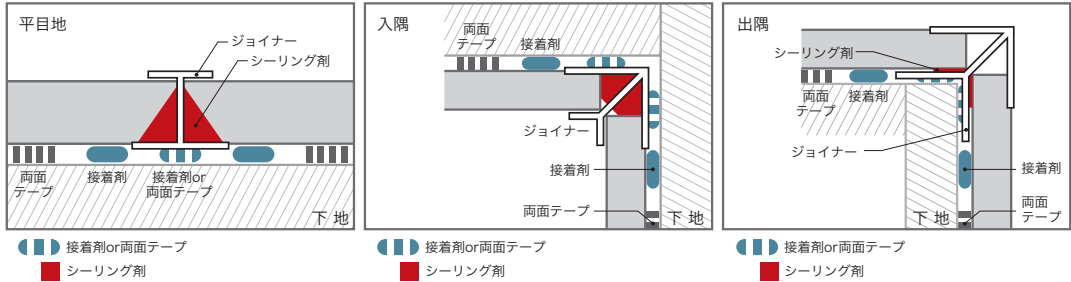


⑤パネル貼り付け

パネル貼り付け仕上げにはジョイナー工法とシーリング工法があります。

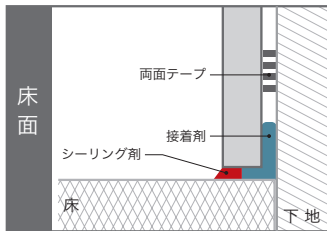
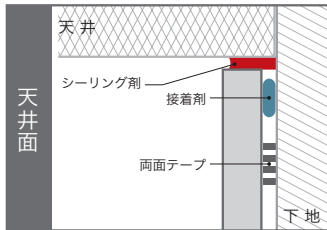
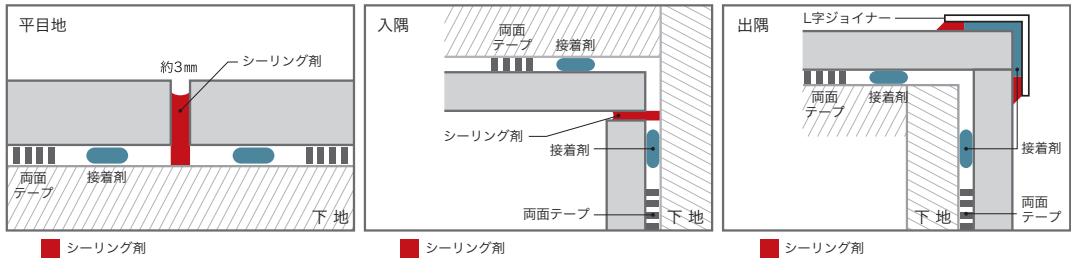
ジョイナー工法

ジョイナーをパネルと同寸法にカットし、一緒にセットして壁面に貼り付けます。その際、ジョイナーとパネルの間にシーリング剤を充填します。



シーリング工法

ジョイナーを用いず、3mm程度の目地をとってシーリング剤でおさめる工法です。目地部分は浴室パネルの端材等をスペーサーとして使用し、均一な隙間を空けてください。貼り付け後、パネル端部に合せてマスキングテープを貼り、シーリング剤を充填します。



両工法とも、十分に圧着してください。
壁面のジョイントはジョイナーの使用が可能ですが、天井面・床との取り合い部分についてはシーリング剤を塗布して納めてください。また、器具等の取り付け後にも、必要に応じてシーリングの処理を行ってください。

⑥清掃

表面についた汚れを中性洗剤で清掃してください。その後、乾拭きしてください。



<メンテナンス上のご注意>

- ・中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジや布で清掃をお願いします。研磨剤の入ったスポンジや金タワシを使用すると表面が摩耗し、抗菌・防かび効果が損なわれることがあります。
- ・シンナー・トルエンなどの溶剤での洗浄はお避けください。

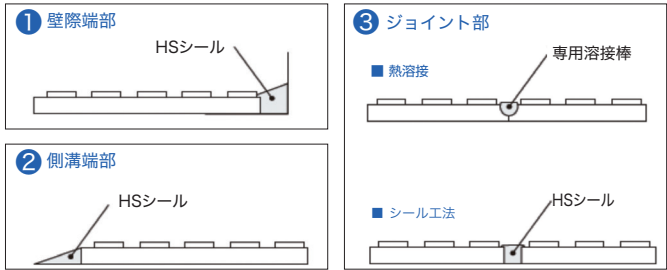
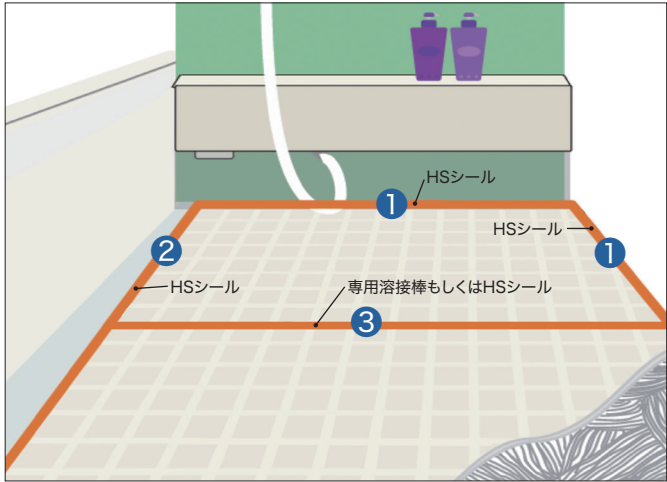
長尺シート「オフロア・プレーンエンボス」の施工方法

■基本手順



■収まり図

壁際や側溝の端部やジョイント部の全景です。



1.環境・下地の確認と補修方法

長尺シートを施工する下地としての条件に適しているかどうかをチェックします。スムーズに水掃けがなされるよう、などらかな勾配のある下地作りをしてください。

■モルタル・コンクリート下地

下地湿気は、高周波水分計『HI-520-2』D.MODE440未満(グレードI)を条件とします。
下地の不陸や凸凹はケレンしたりフロアセメント(BB-492・493)で補修します。

■セラミックタイル下地

下地に浮きや割れがないかを打診などで確認します。
目地や不陸、割れなどはフロアセメント(BB-492・493)などで埋めて全体が平滑になるように仕上げます。

■FRP下地

FRP下地は補修材や接着剤の密着性に劣る場合があります。全面をサンドペーパーなどで荒らして、FRP用のパテで全面を平滑になるように仕上げます。

下地補修により膨れや凹みができる、水掃け勾配が取れなくなり水掃けが悪くなりますので、必ず平滑でスムーズな水掃けができる勾配を確保してください。

2.材料納入・仮敷き

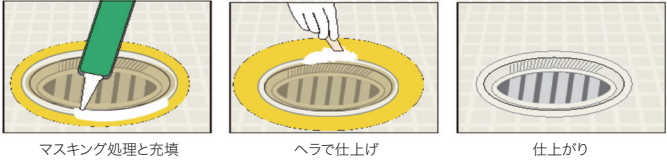
現場の環境になじませ、運搬時の巻き癖、伸縮などを取り除くために必ず仮敷きしてください。特に低温時や寒冷地の場合、シートが硬くなっているため十分な仮敷き時間とります。

■副資材 シール剤対照表

端部処理例



排水口処理例 ※円形目皿の場合



シート／シール剤品番対照表

商品名	シート品番	HSシール品番
オフロア	OH-20296	BB-574
	OH-20297	BB-574
	OH-20298	BB-574
	OH-20299	BB-574
	OH-20300	BB-563
プレーンエンボス (浴室使用可能タイプ)	PM-20301	BB-574
	PM-20302	BB-574
	PM-20303	BB-563

※上記は床材・各副資材の組み合わせ例であり、完全には色が合いませんのでお含みください。

3.下地の清掃

床の汚れ・ゴミ・ちりなどは接着剤の効力を弱めクレームの原因となりますので、清掃の段階で確実に取り除いてください。

4.割付け・粗切り

施工後の水の流れを妨げないようできるだけ目地が少なくなるように割付けし、長めにカットしておきます。

5.シートのカット

壁際に位置する面や排水口などは3～5mm程度シールしろを空けて、巾定規やバースクレイパーなどを用いてカットします。

6.ジョイントの裁断

専用溶接棒で継ぎ目処理をする場合は、落とし込み工法で処理します。スクレイパーなどでけがいてからカットしてください。

※シール工法で継ぎ目処理をする場合はシールしろを3～5mm透かしてシートを施工してください。

7.接着剤の塗布

EP-300(BB-575・584)を専用クシ目を使用して全面に塗布します。
※接着剤はA液・B液それぞれを十分攪拌した上でバケツなどに入れて十分に攪拌してください(床面で混ぜ合わせると接着不良の原因になります)。

8.シートの貼付/圧着/エア抜き

エアを巻き込んだり、たるみが出ないように、ハンドローラーなどで中央から空気を追い出すようにして貼付けます。
空気だまりは下地の湿気などの影響を受けて膨れの原因になりやすいため、ちいさなものでも見逃さず必ず取り除いてください。
施工後は目地部分を含め、シート全面をハンドローラーなどで充分に圧着します。

9-1.継ぎ目処理(熱溶接工法)

■専用溶接棒を使用します。

①溝切り

シートの貼り付け・圧着の後、接着剤が完全に硬化してから、継ぎ目部分をU字もしくはV字に溝切りします。
※溝の深さは、長尺シートの厚みに対して2/3程度としてください。
※ジョイント箇所は溶接後の水掃けを考慮し長尺シートのエンボスの一番低い目地底部分でジョイントしてください。

②熱風溶接

専用溶接機ライスターを使用して目地部分を溶接します。
※熱風の温度が高すぎるとジョイント周辺のシート表面が溶解しツヤが出る場合がありますので十分に注意してください。

③余剰部分カット

溶接棒が十分に固まった状態でスパトラナイフなどを用いて余剰分をカットします。
※溶接棒が固まる前にカットすると後に溶接棒がヤセ、凹みとなる場合がありますので十分注意してください。

9-2.継ぎ目処理(シーリング工法)

■シーリング剤(HSシール)を使用します。

①シート施工時にジョイント部を3～5mm空けておきます

※ジョイント箇所は溶接後の水掃けを考慮し長尺シートのエンボスの一番低い目地底部分でジョイントしてください。

②シーリング部分の確認・清掃

シーリングを施す面が、ゴミやホコリなどで汚れていないかを確認し、汚れている場合は清掃してください。
また湿気のある場合は十分に乾燥させてから作業してください。

③マスキング処理

仕上がりを美しくするために、シーリング部分にマスキングテープを貼りマスキング処理をしてください。

④充填と仕上げ

気泡を取り込まないようにシーリング面に均一になるようにHSシールを充填し、充填後は平らになるようにヘラで整えてください。

⑤マスキングテープの除去・養生

表面を仕上げた後、マスキングテープを取り除き、24時間養生します。
その後入浴は可能ですが、シールが完全に硬化するまでには2～3日かかりますのでシール部分の清掃は控えてください。

10.端部・排水口処理(シーリング工法)

■シーリング剤(HSシール)を使用します。

①シーリング部分の確認・清掃

シーリングを施す面が、ゴミやホコリなどで汚れていないかを確認し、汚れている場合は清掃してください。
また湿気のある場合は十分に乾燥させてから作業してください。

②マスキング処理

仕上がりを美しくするために、シーリング部分にマスキングテープを貼りマスキング処理をしてください。

③充填と仕上げ

気泡を取り込まないようにシーリング面に均一になるようにHSシールを充填し、充填後は平らになるようにヘラで整えてください。

④マスキングテープの除去・養生

表面を仕上げた後、マスキングテープを取り除き、24時間養生します。
その後入浴は可能ですが、シールが完全に硬化するまでには2～3日かかりますのでシール部分の清掃は控えてください。

11.養生

施工完了後、床材の浮き、膨れ、剥がれ、突き上げなどの不備や接着剤による汚れがないかを確認します。
施工後の汚れや破損を防止するため、必要に応じて養生シートなどで保護してください。
また、シール剤が完全に硬化するまではシール部分を踏んだり、ブラシなどでの清掃はお避けください。

12.引渡し前清掃

引渡し前に清掃をお願いします。

日常のお手入れ

①浴室を水洗い

床・浴槽を熱いお湯で洗い流した後、スポンジなどで水洗いをしながら冷たい水で洗い流します。
水洗いでも浴室内の温度を下げる事で熱気がこもらないようにします。

②浴室洗剤を使ってブラッシング

浴室には人の脂肪分や石鹸カス、ホコリなど様々な汚れが付着します。
浴室用洗剤を使用して、デッキブラシ・浴室用ブラシなどでかきだすようにして清掃します。

③換気

浴室は多量の水蒸気が発生します。
換気扇を回す、水分をふき取るなどして湿気を追い出します。

④日常メンテナンスのポイント

乾燥して汚れがこびりついてしまう前に、汚れを落とす事が長尺シートをきれいに長く使って頂くコツです。
適正な日常清掃を心がけてください。

使用上のご注意

①ゴム汚染について

浴室用車椅子の車輪やキャスター、浴室用の椅子や台などに使われているゴム製品が、床材表面に接触すると、ゴムに含まれる成分により汚染される事があります。この汚染は除去することができませんので、ゴムの使用を避けるかゴムが床に直接触れないように下敷きなど保護板を用いてください。

②カビ対策について

シートに水分が残っているとカビの原因となります。
長時間使用しない部屋では換気を心がけてください。水垢や髪の毛、石鹸カスなどもカビの原因となります。

③重量物を置く場合について

重量物を無理に引きずると剥がれ、膨れなどの原因となりますので注意してください。
局部的に荷重がかかると凹み跡が残る場合がありますので、場所を替えて使用するなど注意してください。

④色移りなどについて

毛染め液、ヘアマニキュアなどの着色成分や化学薬品や強い作用を持つ洗剤、漂白剤などにより変退色や変質を招く可能性があります。
こぼれた場合はただちに洗い流してください。また、履物やタオル、ランドリーバックなどに含まれる染料が床材に着色する場合がありますので、放置しないでください。

⑤金属さびについて

カミソリやヘアピンなど、さびの原因になるものを放置すると、さびがシートを変色させる場合がありますので、放置しないようにしてください。

⑥日常ケアについて

シートの表面に水分が長時間滞留する状態が続くとシート表面が白っぽく変色する事があります。
この変色が発生した場合、充分に乾燥させる事で元の状態に戻りますが、水分が長時間滞留しないよう拭き取りや換気をするなど、こまめなケアが大切です。

リアテック ユニットバスリニューアルセレクション 施工マニュアル

2021.11 初版

発行：株式会社サンゲツ インテリア事業本部 壁装事業部 購買課

©sangetsu

- ・この施工マニュアルは、2021年11月現在のものです。
- ・商品規格の改定などにより、施工方法が変更となる場合がありますので、ご了承ください。